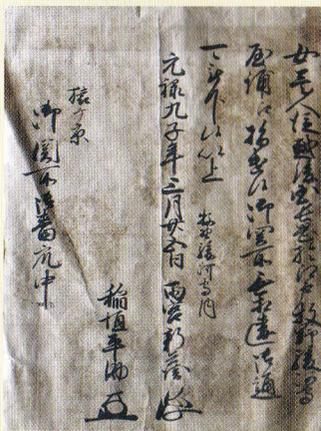


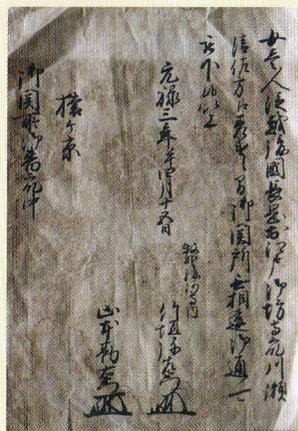
覚
 一、劍付銃 四拾挺
 但 琉球包 貳個
 右者此度從牧野備前守江戸屋敷越後
 國長岡迄差越申候
 御開所無相違御通被可被下候
 為後日証文依如件
 慶應三年卯年四月
 牧野備前守
 武器役所

【武器手形】
 六、卯玉彈丸入
 一、劍付銃 四拾挺
 但 琉球包貳個
 右者此度從牧野備前守江戸屋敷越後
 國長岡迄差越申候
 御開所無相違御通被可被下候
 為後日証文依如件
 慶應三年卯年四月
 猿ヶ京御番衆中
 武器役所



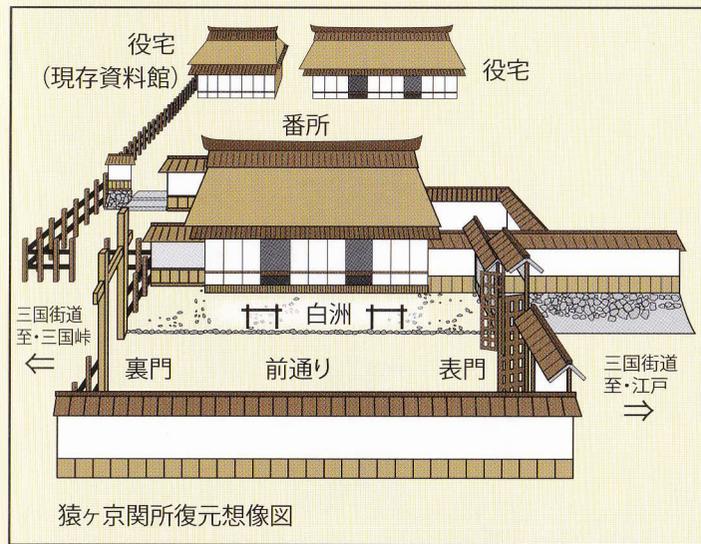
覚
 女吉人仍越後國長岡江戸於御坊守衆川瀨
 屋敷江差遣候御開所無相違御通
 可下候以上
 (女)人越後の國長岡より江戸牧野駿河守屋
 敷へ差し進わし候御開所相違無く御通し下
 され候以上
 元禄九年三月廿五日
 雨宮新兵衛(花押)
 福垣兵助(花押)
 猿ヶ京
 御開所御番衆中

【女人手形】
 女吉人仍越後國長岡江戸於御坊守衆川瀨
 屋敷江差遣候御開所無相違御通
 可下候以上
 (女)人越後の國長岡より江戸牧野駿河守屋
 敷へ差し進わし候御開所相違無く御通し下
 され候以上
 元禄九年三月廿五日
 雨宮新兵衛(花押)
 福垣兵助(花押)
 猿ヶ京
 御開所御番衆中



覚
 一、囚人長髪男 壹人
 右者越中領分越後三嶋郡間瀬村船頭米助与申
 者今度社寺奉行井上河内守様差出候二付
 御開所無相違御通可被下候
 西八月朔日
 松平越中守家来
 田中元右衛門
 猿ヶ京御開所
 御番衆中

【囚人手形】
 一、囚人長髪男 壹人
 右者越中領分越後三嶋郡間瀬村船頭米助与申
 者今度社寺奉行井上河内守様差出候二付
 御開所無相違御通可被下候
 西八月朔日
 松平越中守家来
 田中元右衛門
 猿ヶ京御開所
 御番衆中



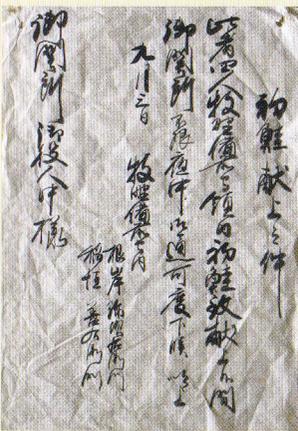
佐渡金山奉行が永井宿に宿泊した際の夕食(左)と朝食(右)

猿ヶ京関所資料館では現存する旧役宅の一部をそのまま資料館として一般公開し、女人通行手形をはじめとする武器、鉛、入湯、囚人などの各種通行手形、飛脚の門鑑、江戸時代の旅人の持ち物、関守道具などを展示しています。



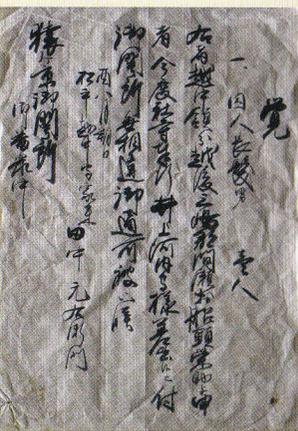
覚
 一、鉄砲 二拾一挺
 但 ゲヘル筒 拾挺
 三、卯五歩筒 拾式挺
 右者此度堀右京之亮領分内越後国
 椎谷込差遣申候御開所無相違
 御通可被下候仍証文如件
 慶應丙寅三年八月
 堀右京之亮内
 山田六郎兵衛
 猿ヶ京
 御開所
 御番衆中

【武器手形】
 一、鉄砲 二拾一挺
 但 ゲヘル筒 拾挺
 三、卯五歩筒 拾式挺
 右者此度堀右京之亮領分内越後国
 椎谷込差遣申候御開所無相違
 御通可被下候仍証文如件
 慶應丙寅三年八月
 堀右京之亮内
 山田六郎兵衛
 猿ヶ京
 御開所
 御番衆中



覚
 初鮭献上之件
 此者四人牧野備前守領内初鮭到献上候間
 御開所不限夜中御通可被下候 以上
 九月二日
 牧野備前守内
 根岸弥次衛門
 根岸善右衛門
 御開所御役・中様

【初鮭献上之手形】
 初鮭献上之件
 此者四人牧野備前守領内初鮭到献上候間
 御開所不限夜中御通可被下候 以上
 九月二日
 牧野備前守内
 根岸弥次衛門
 根岸善右衛門
 御開所御役・中様



覚
 一、囚人長髪男 壹人
 右者越中領分越後三嶋郡間瀬村船頭米助与申
 者今度社寺奉行井上河内守様差出候二付
 御開所無相違御通可被下候
 西八月朔日
 松平越中守家来
 田中元右衛門
 猿ヶ京御開所
 御番衆中

【囚人手形】
 一、囚人長髪男 壹人
 右者越中領分越後三嶋郡間瀬村船頭米助与申
 者今度社寺奉行井上河内守様差出候二付
 御開所無相違御通可被下候
 西八月朔日
 松平越中守家来
 田中元右衛門
 猿ヶ京御開所
 御番衆中